

# 平成27年度 事業報告



## 倉敷芸術科学大学

創立20周年を迎え、地域に根ざした大学として、地域と協力して、地域の活性化に役立つ学生を育てるため、教職員が一丸となって、徹底した教育指導を行います。



教育面では芸術と科学の協調をさらに推し進めて、3つの学部の枠を超えた連携を深め、幅広い知識と柔軟な思考力を持つ学生の育成を引き続き行っていきます。また、これまで以上に教養教育を重視し、その内容を見直し、

学生が地域で活躍することができる常識と教養を身につけられるよう教育していきます。

研究面では地域貢献するための研究を推進し、より多くの教員が科学研究費補助金の申請を行うことで、研究に対する意識を向上させ、研究の成果を教育や地域社会に還元できるよう努めます。

地域との連携では昨年「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択され、くらしき作陽大学と共に倉敷市との連携を通じて、全学的に地域の課題解決のため、教育・研究・社会貢献の三位一体の改革に取り組んでいきます。

今年は創立20周年を迎える節目の年となり、これまでの20年を振り返り自己点検・評価し、建学の理念に掲げる人材の育成をめざし、さらなる教育改革と大学の環境作りに邁進していきます。

倉敷芸術科学大学 学長 河野 伊一郎

## 教育の充実

### ■教養教育改革

平成25年度より、現行の教養教育から教養科目と専攻科目が連動した全学的なカリキュラムの検討を始め、平成28年度から実施に向け、人間力・社会人基礎力の育成、初年次に大学で学ぶ意識を高める導入教育の強化、地域貢献に対する意識を高め地域で活躍する人材の育成および教育内容・教育方法の充実を図るよう準備しました。

それに先立ち、平成26年度に採択された「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)の一環として、今年度より地域を志向した科目を必修科目として設定し、教育改革の第一歩を踏み出しました。

### ■年間履修上限単位の見直し

単位取得の実質化のため、大学での授業と授業外学習による学習習慣を確立し、学生の学習意欲を上げるよう年間の履修上限単位を見直し、自学自習教育環境の整備を含め教育の充実を図りました。

### ■学部・学科の改編

高校生にとって魅力ある学部・学科とは何か、地域社会に求められている教育とは何かをリサーチし、地域に根ざした大学にふさわしい学部・学科の設置に向け、平成29年度開設を目指し検討しました。

## ■産学連携教育

倉敷市の推進するまち、ひと、しごと創生事業や経済産業省所管の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業、高梁川流域連盟の活動と協力し、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成を進めました。また、デザイン・映像分野では企業や行政機関から依頼される製品デザイン・CM等の製作により、学生の意欲向上をめざした生きた課題授業を実践しました。

## ■高大連携教育

・文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)採択校や教育協力提携校との生命科学、IT科学、美術工芸、デザイン、アニメーション分野などでの連携を引き続き行い、大学、高校間の境目のない接続教育の実現を進めました。

・11月17日倉敷中央高校とくらしき作陽大学、本学の3者で教育提携の調印式を行い、両大学の教員による授業などを通して、高校生が大学の教育・研究の取り組みについての理解を深め、専門知識を学び、地域に貢献できる人材の育成につなげていけるよう努めました。

## ■入学前教育・初年次教育

昨年度に続き、入学前の新入生に対し、入学前教育課題集を作成、送付し、新入生が大学生活に期待や希望を抱いて入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。入学後は、1年次対象に前・後期、基本英語・基本数学・基本化学・基本物理の4科目8単位の修得を可能とし、学生一人一人の学力に応じた個別相談ができる体制を加えることにより、初年次教育を充実させました。

## ■FD・SDへの取り組み

FD・SD研修会、授業アンケート、学生満足度に関するアンケート、授業公開などFD・SDへの取り組みを昨年度に引き続き実施しました。授業アンケートに関して、実施結果を分析し、授業改善に向け反映するよう努めました。

## ■学科等の特色ある取り組み

・芸術学部では、倉敷に根差した地域文化プラットフォーム形成のプロセス研究・開発を進めました。また、トップアーティストとのコラボレーション展覧会による先進アートの発信も計画し、地域の文化の中で感性を磨き実践的な学びを展開しました。

・産業科学技術学部では、平成25年度より市民生活の質の向上を高めるための市民講座を開設していましたが、今年度より「地(知)の拠点整備事業」(大学COC)の中で、教育改革と研究改革の成果を地域に還元する生涯学習の場としての「倉敷みらい講座」につなげました。

・生命科学部では、平成24年5月に設立された「鈴木章キリストネットワーク」を通じて、化学教育の普及をめざして活動しています。また、「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)において、備災・減災力育成研究に取り組みました。

## ■教育改善の支援

### ・大学コンソーシアム岡山

大学コンソーシアム岡山では、岡山県内の16大学が連携し、(1)大学相互の協力と情報交換、(2)地域社会との交流と生涯学習の推進、(3)地域高校との連携、(4)地域創生学の構築、(5)地域発信による国際交流を行っています。本学は連携の中で、相互に単位互換として科目提供、また、生涯学習講座の講師派遣の一部を担いました。

### ・産業界のニーズに対応した教育支援

平成24年度から補助金事業として、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働し取り組んできた「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」が平成26年度をもって終了しましたが、継承事業として平成27年度「大学教育再生加速プログラム(インターシップ)を通じた教育強化)に中四国12大学の共同申請により採択されました。これにより前事業で構築したネットワークを活用し、倉敷市やロータリークラブ等の支援のもと地元企業との連携を深め、引き続きインターシップやキャリア教育に取り組み、低学年からキャリア体験をつむぐことにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人

材の育成に努めました。

### ■鍼灸ケアセンター

ヘルスピア倉敷にて、生命科学部健康科学科鍼灸専攻の学生が鍼灸ケアセンターを実習利用し、相互の連携を深めています。また、鍼灸治療院を開院し、本学有資格教員が下記の日程にて外部診療を行っています。

毎週火・木曜日

10:00～12:00、14:00～17:00



## 研究の充実

### ■科学研究費助成事業等獲得の推進

科学研究費助成事業（補助金分・基金分）、受託研究、共同研究事業等の外部資金を積極的に獲得することを推進しており、外部資金相談窓口を設けるとともに情報発信し、研究活動の充実を図りました。

## 学生支援

### ■修学支援

入試の多様化に伴い、学科の基礎学力として必要な科目を高校で学習しないで入学する学生がいます。そのため基礎学力の充実を図るため各科目（英語・数学・物理・化学）の学習相談や基本講座を開設し学習の支援を行いました。

### ■進路支援

#### ・就職ガイダンス

就職ガイダンスは、1，2年次生の低学年を対象

に数回開催しました。3年生前期からは、OB・OGの体験報告会や4年次生の内定者報告会をはじめ、マナーメイク講習、個人/集団面接トレーニングなども数回取り入れて実施しました。

#### ・就職対策講座

履歴書作成や小論文対策等を集中的に実施しました。また、公務員採用対策講座を通年で実施し、公務員希望者の支援をしました。

#### ・職業適性等

1年次生を対象に、大学生基礎力調査を実施しました。この調査により、自己発見・自己認識が進み、大学生活における具体的な目標設定が容易になるように支援しました。3年次生には、年2回（7月・10月）SPI適性模擬検査を実施し、学生が自分の基礎能力を知ることにより、採用試験に向けた対策に反映しました。また、11月には就職実践模試（一般常識・基礎学力テスト）やエントリーシート攻略テストを実施するなど、実際の就職試験に備えました。

#### ・就職支援

就職活動の質問、不安、悩みなどの対応ができるように24時間メールにて学生対応にあたりました。就職試験に向けた面接指導や履歴書指導のほか、就職に関する相談もキャリアセンターで随時受付し、学生に対するきめ細やかな就職支援を行いました。

#### ・学生カルテ

学生との面談記録、キャリアガイダンスの出欠状況などの就職活動状況がひと目でわかるように学生カルテを活用し、就職支援の一層の充実を図り、従来に増してきめ細かい学生支援を展開しました。

#### ・就職懇談会

企業担当者と教職員が情報交換を行う、加計グループ合同の就職懇談会を、東京、広島、大阪で開催し、就職先の開拓や採用情報の入手に努めました。

### ■生活支援

#### ・奨学金支援

日本学生支援機構の奨学金を中心に各種奨学金（地方自治体等）を含め、人物、学業に優れ、経済的な理由のため修学が困難な学生に経済的な援助を行

う事務窓口を設け奨学金支援をしました。

#### ・健康等支援・相談

学生の健康管理と健康増進を図るため、定期健康診断の実施や健康に関する相談、心理的・精神的な相談など大学生活全般にわたる支援を行いました。

#### ■留学生支援

新入生に対して、指定宿舎の部屋を確保し、生活面や学費減免、各種奨学金の紹介などの支援を行っています。また、在留資格の手続きなど大学生活を円滑に送ることができるように支援しました。

## 社会連携・社会貢献

#### ■地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)の推進

地域社会の課題解決に資する人材、情報、技術が集まる中核的存在としての大学を目指し「文化産業都市倉敷の未来を拓く若衆育成と大学連携モデル創出事業」のテーマで、昨年度よりスタートした大学COC事業を倉敷市と連携しながら、教育分野、研究分野、社会貢献分野についての諸活動を推進しました。具体的には、「くらしき若衆」育成プログラムに基づいた新科目である「倉敷と仕事」を必修科目とし、倉敷の著名な人物を講師として招き、実践的な教育を通して、地域社会のリーダーとして活躍できる人材育成を目指すと同時に、個性的で魅力的な文化の形成につながる「倉敷アートスタート研究」並びに安全・安心なまちづくりに寄与する「備災・減災力育成研究」を、地域と密着して進めて行き、それらの活動状況を公開講座である「倉敷みらい講座」の中で多くの市民の方々へ報告することで、地域の質を高めることに貢献しました。

#### ■倉敷市との人材育成の連携

10月15日に倉敷市と教育や防災などの分野の5項目で連携協力する包括協定を結び、両者の知的資源を活用し、地域社会に貢献できる人材の育成に努めました。

## 教育研究環境

#### ■施設等の充実

- ・芸術学部学生の作品を常時展示できるように11号棟廊下をギャラリーに改装しました。
- ・開学以来の空調設備の老朽化に伴い、よりよい環境のもと教育・研究が可能となるよう4号棟(図書館)の空調設備の更新を行いました。
- ・22号館教室を改修し、アクティブラーニングにも対応できる教育環境に整備しました。
- ・アドビ社すべてのソフト群を利用できるライセンス契約を結び、学生や教職員が教育的・事務的に幅広く活用できるようにしました。
- ・生命科学部健康科学科鍼灸専攻の実習施設のあるヘルスピア倉敷への市道が7月に開通し、より安全な移動が可能になりました。

## 学生の受入

#### ■創立20周年を迎え

創立20周年を記念し作成したロゴ「UNIQUE! 20years」、「アートの海、サイエンスの空、明日(あした)への丘。倉敷芸術科学大学」をキャッチフレーズとしたポスターなど、創立20周年をキーワードに各種媒体を利用し、広報展開をすすめ、一層の大学知名度向上に努めました。



#### ■オープンキャンパス

春は「考える」、夏は「深める」、秋は「極める」をテーマにオープンキャンパスを開催しました。学科ごとに模擬体験授業を行うなど、多彩なイベントを用意し、進路選択の一助となるよう開催しました。また、保護者の方にも安心できる大学として選択してもらえるよう、10月に保護者対象のオープンキ

キャンパスを開催しました。



### ■入試方法等

設置する学部・学科のアドミッションポリシーに沿った入学者の受入及び広範囲となる地域からの受験生ニーズに応えるべく、利便性に配慮した入試の実施に努めます。その一環とし、ネット出願を導入しました。

## 内部質保証

### ■自己点検・評価

本学では、開学と同時に自己評価委員会を設置し、自己点検・評価に取り組んでいます。この委員会には、学内委員のほか、産・官・学から1名ずつ外部有識者として構成員に迎え、外部委員の意見を評価に反映させています。大学院、学部、学科、各種委員会が当初目標を設定し、中間報告を経て最終到達報告を行い、次年度に前年度を踏まえた改善目標を設定するなどPDCAサイクルを機能させ教育改革を行いました。

### ■外部諮問委員会答申による改善

本学が一層の充実・発展を図るための大学改革のあり方について意見を求めることを目的に、学長の諮問機関として設置された外部諮問委員会の答申（平成26年3月）を受け、今年度もこの答申に沿って本学の充実・発展のため改善に努めました。

### ■教員業績システム

教員の基本情報、教育活動、研究業績、学内活動、

社会貢献活動等の項目をデータベース化し、教員情報システムの構築を推進しています。これにより、各教員の業績等を把握し、今後様々な面への活用を考えていきます。

## その他取組等

### ■創立20周年記念事業

創立20周年を記念し、記念オブジェの制作・設置、クラブハウスの増設、ホームページへの創立20年の歩みや将来に向けてのページの制作など記念事業を計画し、順次実施しています。

## 受賞・課外活動

### ■主な受賞

- 第66回岡山県美術展覧会
  - 洋画部門 県展特別賞1名、入選1名
  - 日本画部門 県展賞2名
  - デザイン部門 山陽新聞社賞1名、地域奨励賞1名、県展賞1名、入選5名
  - 工芸部門 県展特別賞1名、奨励賞1名
- テクネIDアワード〈NHK ETV〉
  - ポジ部門 優秀賞1名
- 目指せ日本一！倉敷 弁論大会
  - 最優秀賞1名、優秀賞1名
- 第5回加計杯日本語弁論大会
  - 優秀賞1名(留学生別科)
- 上野の森美術館大賞展
  - 入選1名
- 庄原市オリジナルナンバープレートデザイン公募
  - 優秀賞1名

### ■部活動報告

- バスケットボール部  
(男子)
  - 第7回中国学生バスケットボール新人大会 4位
  - 中国大学バスケットボール秋季大会 3位
- (女子)

- 第41回中国大学バスケットボール選手権  
春季優勝大会 2位
- 第7回中国学生バスケットボール新人大会 優勝  
中国大学バスケットボール秋季大会 2位
- 第67回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場

○空手道部

- 第59回全日本学生空手道選手権大会 出場1名

○フィギュアスケート部

- 第54回岡山スポーツ賞 団体賞(冬季国体成年  
男子県選抜)

- 第87回日本学生氷上競技選手権大会 総合2位

- 第70回国民体育大会フィギュアスケート競技 男子3位

- 第41回西日本選手権大会 男子優勝

- USインターナショナルクラシック 2015 2位

- 第9回西日本学生フィギュアスケート選手権大会男子優勝

- 2015NHK杯国際フィギュアスケート競技大会 男子5位

- 第84回全日本フィギュアスケート選手権大会 男子4位

- 四大陸選手権 日本代表 男子6位

○陸上競技部

- 第36回中四国私立大学対抗陸上競技選手権大会

- 男子200m 優勝、男子1500m 4位、

- 女子100m 4位、男子4×400m 2位

- 第38回中国四国学生陸上競技選手権大会

- 男子400m 優勝

## 人事・組織

### ■学長・副学長・学部長等の選出

学長等の役職の任期満了に伴い、学長、副学長、学部長、研究科長等の選出を行いました。学長：河野伊一郎氏、学長顧問：土井章氏(前学長)、副学長：加計悟氏(再任)、児島塊太郎氏(再任)及び田丸憲二氏(再任)、副学長補佐：猪木原孝二氏(再任)、芸術学部長：近藤研二氏(再任)、芸術研究科長：神原正明氏、産業科学技術学部長：濱家輝雄氏、生命科学部長・産業科学技術研究科長：宮野善盛氏(再任)、人間文化研究科長：小山悦司氏(再任)が就任し、新体制で大学運営に当たりました。

### ■組織の変更

大学改革をさらに進めるために改革推進室を発展的に廃止し、より具体的に計画、申請等を実施する企画室を設置しました。

## 主な行事

4月4日	入学前オリエンテーション
4月5日	入学宣誓式・大学院(通信制)入学宣誓式
4月6日 ～9日	新入生・在学生オリエンテーション
4月10日	前期授業開始
4月11日	霞祭
6月7日	春オープンキャンパス
7月25日 26日	夏オープンキャンパス
7月28日 29日	教員免許状更新講習会
7月31日 ～8月6日	前期定期試験
9月12日	教育懇談会(地方会場)
9月19日	教育懇談会(本学会場)
9月23日	留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月24日	後期オリエンテーション
9月25日	後期授業開始
9月26日	秋オープンキャンパス
10月24日 25日	芸科祭 芸科祭・保護者対象オープンキャンパス
11月21日	合格者大学相談会(1回目)
11月25日	就職懇談会(東京会場)
2月3日 ～9日	後期定期試験
2月13日	合格者大学相談会(2回目)
3月4日	就職懇談会(広島会場)
3月11日	就職懇談会(大阪会場)
3月23日	学位記授与式

## 学生・教職員数

### ■在籍学生数

(平成27年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数			
			留学生	社会人		留学生	社会人		
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	2	1	0	12	6	1	0
	芸術研究科(修士)	20	3	0	0	40	9	1	0
	産業科学技術研究科(博士)	4	1	0	0	12	2	0	0
	産業科学技術研究科(修士)	16	3	0	0	32	13	0	0
	人間文化研究科(修士)	15	4	3	0	30	6	4	0
大学院 計		59	13	4	0	126	36	6	0
芸 術 学 部	美術工芸学科 (募集停止)	—	—	—	—	70	39	1	0
	メディア映像学科	50	47	2	0	174	161	11	0
	デザイン学科	—	—	—	—	70	54	1	0
	デザイン芸術学科	55	46	5	—	110	81	8	—
計		105	93	7	0	424	335	21	0
技 産 術 業 学 部 学 部	経営情報学科	95	40	10	0	298	140	40	0
	観光学科 (募集停止)	—	—	—	—	90	36	15	0
計		95	40	10	0	388	176	55	0
生 命 科 学 部	生命科学科	50	47	0	0	190	200	1	0
	健康科学科	—	—	—	—	110	98	0	0
	健康科学科(健康科学専攻)	55	50	0	0	110	120	0	0
	健康科学科(鍼灸専攻)	30	16	0	0	60	23	0	0
	生命動物科学科	—	—	—	—	134	133	0	0
	動物生命科学科	60	52	0	0	120	103	0	0
	生命医科学科	50	57	0	0	200	209	0	1
健康医療学科 (募集停止)	—	—	—	—	60	25	0	1	
計		245	222	0	0	984	911	1	2
学部 計		445	355	17	0	1,796	1,422	77	2
<b>通学制 合計</b>		<b>504</b>	<b>368</b>	<b>21</b>	<b>0</b>	<b>1,922</b>	<b>1,458</b>	<b>83</b>	<b>2</b>
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	2	0	2	20	4	0	4
	産業科学技術研究科(修士)	20	0	0	0	40	0	0	0
	人間文化研究科(修士)	30	1	0	1	60	5	0	5
計		60	3	0	3	120	9	0	9
学 部 (通 信 教 育 課 程)	産業科学技術学部 (募集停止)	—	—	—	—	—	1	0	0
	計	—	—	—	—	—	1	0	0
<b>通信制 合計</b>		<b>60</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>120</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>9</b>
<b>総合計 (通学制+通信制)</b>		<b>564</b>	<b>371</b>	<b>21</b>	<b>3</b>	<b>2,042</b>	<b>1,468</b>	<b>83</b>	<b>11</b>
別 科	留学生別科	60	12	12	—	80	34	34	—
	計	60	12	12	0	80	34	34	0

(単位:人)

## ■卒業者数等一覧

(平成27年度)

区分		修了者・ 卒業者	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	1	2	0	0	0%	-	0	1	1
	修士	17	-	14	11	78.6%	0	2	1	0
学部		321	-	249	232	93.2%	15	55	21	26
大学院（通信制）		5	-	-	-	-	0	-	-	1
学部（通信教育課程）		1	-	-	-	-	-	-	-	-
別科	留学生	27	-	-	-	-	22	8	-	3

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成28年4月1日現在）

（単位：人）

主な就職先	アコム損害保険(株)、NHK岡山放送局、岡山市農業協同組合、(株)河合楽器製作所 体育事業部、(株)北原産業、山陽映画(株)、(株)山陽レイスポーツ、ダイヤ工業(株)、大洋パーク(株)、タカオ(株)、高松信用金庫、テラル(株)、西兵庫信用金庫、日亜化学工業(株)、名鉄観光サービス(株)、松山全日空ホテル、(株)エポックライズ、倉敷成人病センター、愛媛大学医学部附属病院、岡山済生会総合病院、高知大学医学部附属病院、広島赤十字・原爆病院、総社市役所、広島市消防局、Animal Care-Hospital ALOHA
-------	--

## ■教職員数

(平成27年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員計	事務職員
1	3	59	23	11	6	1	2	102	61

(1)

（単位：人）

\*教授欄：学長、副学長の1名を含む。講師欄：副学長1名を含む。( )内：事務系副学長

\*事務職員欄：外部機関への派遣1名を含む。



## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度		
		27年度 決算額	前年度 決算額(※1)	
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	2,215,770	2,348,834	
	経常費等補助金	308,368	395,769	
	その他収入	192,518	246,484	
	計	2,716,656	2,991,086	
	教育活動収支差額	-587,798	-490,727	
教育活動 支出	人件費	2,101,393	2,214,670	
	教育研究経費	939,300	942,210	
	管理経費	263,216	261,463	
	その他支出(※2)	545	63,469	
	計	3,304,454	3,481,813	
教育活動外 収入	受取利息等	67	*	
教育活動外 支出	借入金利息等	12,753	*	
教育活動外収支差額	-12,686	*		
経常収支差額	-600,485	-490,727		
特別 収入	資産売却差額等	8,051	*	
	特別 支出	資産処分差額等	60,048	*
	特別収支差額	-51,997	*	
基本金組入前収支差額	-652,481	-490,727		
基本金組入額合計	0	-25,498		
当年度収支差額	-652,481	-561,224		

※1 前年度決算額は、新会計基準の該当科目に反映させた

※2 \* 「教育活動収支」の「その他収入・支出」に含めた

### ■施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
図書館空調機更新	25,200
クラブハウス新築関係倉庫移設工事	3,094
20周年記念オブジェ	5,730
20周年記念オブジェ基礎工事	2,538
11号棟廊下ギャラリーへの改装工事	4,158
総合医療健康センター-高圧ケーブル改修工事	13,716
電話交換機設備更新	9,720
防犯カメラ設置工事	3,348
芸術学部実習室PC関連設備	18,818
顕微鏡デジタルカメラシステム	4,806